

器楽	2年次以上	2単位	選択履修
使用教科書 『MOUSA 2』（教育芸術社）	副教材等 なし		

1. 学習目標

個々の演奏技術の向上を図る。また、鑑賞活動を通して個性豊かな表現能力を身につけ、音楽を愛好する心情を育てる。

2. 指導の重点

生涯学習の基本となる力を養うために、器楽の演奏に必要な知識・技術の習得を目指す。

3. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
表現活動に関心を持ち、楽器を正しく扱うことができる。 基本的な視奏力を身につけ、演奏することができる。	音楽の構成要素を知覚し、表現活動に生かしている。	音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に演奏活動に取り組もうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は、次の3観点から行う			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	曲種による器楽表現の特徴について理解している。伴奏や他者との調和を意識して器楽演奏する技能を身につけ表現している。 音楽の多様性について理解している。	音楽の構成要素を知覚し、その特徴や曲想との関わりを感受し、器楽表現を創意工夫している。	学習に取り組む準備ができている。 技能向上を目指し、課題に取り組んでいる。
授業中の活動内容の観察、音楽表現実技テスト、ワークシート等提出内容の確認・分析などから評価します			

5 学習計画

月	単元名	学習活動	時間	評価の観点	評価方法
4 5 6	演奏の基礎	楽器分類学を学び、鑑賞を通して様々な楽器を知る。 選択した楽器について調べ、演奏技術や記譜法を学ぶ。 キーボード、ギターの基本的な奏法を学び、個々の技術に応じて選曲し、演奏技術の向上を目指す。楽譜を正しく読み、メトロノームや伴奏に合わせて演奏する。	20	a c	観察・聴取 ワークシート(分析)
7 9	アンサンブルの基礎 前期実技試験	音楽の構造を理解しながら、伴奏や他者との調和を意識して演奏する。リズムアンサンブルを通して、アインザッツなど奏者同士のコミュニケーション方法を学び、表現を工夫する。 ＜独奏＞キーボード、ギターの演奏 ＜合奏＞アンサンブル演奏	15	a b c a b c	
10 11 12	演奏表現の伸長	ハンドベルアンサンブルの表現を工夫しながら演奏する。他者との調和を意識しながら二重奏を行う（箏） 各自で楽器を選択、選曲し、演奏技術の向上を図る。 中間発表で相互評価を行い、その評価を参考に表現の工夫を図る。	20	a b c	観察・聴取 ワークシート(分析)
12 1 2	演奏表現の探究 後期実技試験	レパートリーを増やす。また、相互評価や録音の分析を生かしながら表現の工夫を図り演奏発表を行う。様々な演奏の映像を鑑賞、研究する。 ＜独奏＞選択楽器の演奏	15	a b c a b c	

計70時間（50分授業）

6 課題・提出物等

授業の進め方、課題・提出物など
教科書を中心に表現、鑑賞活動をする。課題、ワークシートは丁寧に取り組み、必ず提出すること。

7 担当者からの一言

演奏技術を身につけるには、繰り返し練習が必要です。粘り強く頑張りましょう。

